

神戸市サッカー協会(1種社会人・2種高校生・3種中学生・4種小学生・女子)
平成20年度(第11回)トレセンフェスティバルの記録
《社会人代表チーム》

◆社会人代表、高2選抜(U-17)に3対2で勝利！今期目標達成！

【試合日時】平成21年3月22日(日)12時20分kickoff(30分ハーフ)＜王子スタジアム＞

【試合結果】3：2(前半2：2/後半1：0)

【得点者(アシスト)】①鳥越(一)、②鳥越(松本)、③鳥越(松本)

スタメン				試合終了時			
11 鳥越				11 鳥越			
13 中尾	10 曾我部	9 松本		13 中尾	3 川井	9 松本	
7 辻本		18 藤本		10 曾我部		18 藤本	
5 吉井	4 西浦	2 九鬼	12 平松	5 吉井	4 西浦	2 九鬼	12 平松
21 吉岡				22 米田			

【感想】今期2008年度社会人代表チームは、神戸市リーグ所属の雑草魂溢れる選手のみで構成し正月明けから2月22日の都市対抗決勝まで毎週試合を重ねてきただけあって、代表チームとして完成域に達しており、ここ数年勝てなかった高校選手権出場選手が混じる高2選抜チーム相手に終始押し気味に試合を進め3対2で勝利し、今期目標の「都市対抗大会優勝」及び「トレセンフェスティバル高校選抜戦勝利」を見事達成し最高の成績で最終戦を締め括った。

この試合は相手が運動量とスピード(瞬発力)のある高校生ということで中盤を厚くし1トップで臨んだが、社会人も運動量は豊富でパス&ランが徹底しており、今季チームの特徴である速くて精度の高いパス交換が何本も繋がり、前半開始15分で2点をリードした。今回は楽勝かなと思いきや、高2選抜も社会人のパスミスから奪ったボールを速攻で確実に2得点するところはさすがであった。

2対2のまま後半に入り、例年なら社会人の運動量が落ちガタガタと崩れるところであったが、今回は都市対抗決勝戦で二度のビハインドを跳ね返し延長戦で逆転勝利した社会人の粘り強さが発揮された。高校生はスピードに乗ったドリブル突破を何度も仕掛けたが、社会人はしつこく相手にプレッシャーをかけ続け、一人目が抜かれても必ず次の選手が潰しに入り最後は2~3人で囲んでボールを奪うことができたので危険な場面は少なかった。そして、高校生の速い寄せの中でも焦ることなく、終始自分たちのつなぐサッカーを続けたことが後半残り15分の決勝点に繋がった。

試合後、高2選抜指導陣が語った。

“自分たちのやりたいサッカーを全部社会人にやられた。今回の社会人はとても強く、まとまりのあるいいチームだった。来年リベンジできるように頑張ります。”と。

残念ながら今期の代表チームは解散となるが、4月から新たな選手を発掘・育成し、2009年度も今期と同じ成績が残せるよう強い代表チームを作っていきたい。

【ギャラリー】

～今期目標の「都市対抗大会優勝」及び「トレセンフェスティバル高校選抜戦勝利」を見事達成！～



【記録】 通算戦績 5 勝 0 敗、得点 18、失点 5 <H21. 3. 22 最終戦終了>

得点		アシスト	
5 得点	鳥越【得点王】	3 アシスト	松本【アシスト王】
3 得点	高須、松本、村山	2 アシスト	鳥越、辻本、高須
2 得点	藤井、中尾	1 アシスト	西浦、吉井、中尾、九鬼

以上